

11月18日(土)に第7回メロンフェスティバル(文化祭)が行われました。今年は約1300人の方にお越しいただき、大盛況の1日でした。ステージ発表では、日ごろの学習での取り組みを生かしながら、練習の成果を発揮することができました。また、図画・工作や美術などで作ってきた作品の数々の展示、作業学習で製作してきた作業製品の頒布もたくさんの方に喜んでいただきました。児童生徒の成長を感じる一日となりました。お越しいただきました保護者の皆様、地域の皆様、文化祭の実施を陰で支えていただきましたボランティアの皆様、大変ありがとうございました。



小学部低学年

今年のステージは「子供達だけが出る(一部の支援を受けて)ステージ」をテーマに、日々の授業で行ってきた活動を取り入れた構成にしました。今までの学習の成果をステージで行う事で1人1人が見通しを持ち、自分の役割を行うように練習をしてきました。シンプルでコンパクトなステージとなりましたが、子供達がキラキラ輝くステージとなりました。



小学部高学年

テーマは「はばたき村の宝を守れ」ということで、オープニング、リトミックグループ、バルーングループに別れて練習に取り組んできました。どのグループも練習を積み重ねていくうちに、自分の立ち位置、次への移動、宝物をかけに行く動き、ダンスなど生き生きとできるようになりました。子ども達の素晴らしい成長を見ることができました。

中学部

中学部は、「青い鳥2017」というテーマで、青い鳥の物語をもとにして「京都～平安京の世界」「踊りの世界」「太鼓の世界」の3場面を表現しました。生徒一人一人が役割を持ち発表に参加できるよう、日々練習を重ねてきました。本番では、演奏・演技等、各学年の特色を活かした発表をすることができました。



高等部

高1は、「ライオンキング」の歌とボディパーカッション、高2は、「見上げてごらん夜の星を」「Let's Go! いいことあるさ」の歌とパフォーマンス、高3は、エイサー(唐船どーい)と歌「島人ぬ宝」を発表しました。練習を重ねる中で、各自が歌詞や動きを覚え、いきいきと発表できるようになりました。背景画や小道具の製作にも、協力して取り組むことができました。

